

学 会 記 事

§ 平成 27 年第 1 回日本核医学会理事会 議事録

日 時：平成 27 年 2 月 24 日（火）

12 時 00 分～16 時 30 分

場 所：日本アイソトープ協会 第 3 会議室

出席者

理事長：井上登美夫

理 事：石井一成，伊藤健吾，内山眞幸，
絹谷清剛，汲田伸一郎，小泉 潔，
佐賀恒夫，阪原晴海，千田道雄，
玉木長良，近森大志郎，外山 宏，
中川原譲二，橋本禎介，畑澤 順，
藤井博史，細野 眞，間賀田泰寛，
松田博史，望月輝一，渡邊 浩

監 事：田代 学，戸川貴史

書 記：中本裕士

事務局：神田正子

欠席者

理 事：飯田秀博，佐々木雅之

議 題

I. 審議事項

1. 理事選挙の選挙管理委員長について

(1) (井上登美夫理事長)

理事選挙の選挙管理委員会委員長を小須田茂先生にお願いする。承認。

2. 新しい医学系研究に関する倫理指針について

(2) (藤井博史理事)

臨床研究の質の向上と、被験者の人権の保護を図るために、平成 27 年 4 月より“人を対象とする医学系研究に関する倫理指針”が施行されることが報告された。資料、情報のバンクやアーカイブに関する規程が盛り込まれ、既存データを活用

した臨床研究の実施が容易になる等の利点も多いが、平成 27 年 10 月以降「軽微な侵襲を伴う」研究以外はモニタリングと監査が義務づけられるため、それについての対応を検討する必要がある。軽微な侵襲については、平成 27 年 2 月に示されたガイダンスにおいても明確な定義は示されず、原則として各研究機関の IRB（倫理審査委員会等）に委ねられるため、施設間で対応が異なり、問題が生じる可能性がある。モニタリングや監査の導入が、研究の質を向上させるのは確かであるが、治療薬を対象とするような厳格なモニタリングや監査は多額の費用を有し、研究の萎縮につながりかねない。また、監査は、関係者以外が行う必要があるため、非専門家が対応し、混乱するおそれがある。これに対して、「臨床研究法」の制定も視野に入れて、核医学検査が軽微な侵襲といえるかどうかの議論を含めて、学会でモニタリングなどの指針を示すことを検討するとよいのではないかという意見が示された。

海外の状況の調査や日本医学放射線学会との意見調整に関する提案もなされた。

3. Nuclear Medicine Global Initiative について

(畑澤順理事)

SNMMI から提言された活動

(1) 小児核医学 (2 年半くらい)

→ JNM で報告が予定されている。

(2) Availability of radiopharmaceuticals (Dr. Andrew Scott) に関して、阪大の加藤弘樹先生にまとめ役を委託する→承認された。

4. アセタゾラミド適正使用指針について

(3) (佐賀恒夫理事)

「定量法」にはいろいろあるが、精度の高いものとして「ARG 法」ということばを残した。(脳

卒中学会より)

「原則入院」長時間の院内待機後帰宅は許容されないか？ たいていの有害事象は 30-60 分以内だが、これまでの副作用で 12 時間後（翌日）ということがあるため、因果関係が証明できず当面は入院が望ましいとなった。処置の扱いなので入院させても診療報酬の算定は可能であろう。

酸素の saturation モニターが重要。ガイドラインは日本核医学会として承認。

5. アジア核医学教育 (ASNMM) について

(4) (外山宏理事)

核医学医が少ない国がある。ホームページを充実させて勉強しやすくなるか？

ANM の Abstract を容易に見ることができるようにするとよい。

2015 年 5 月 14 日-16 日上海で Asian academic forum of Nuclear Medicine を開催予定。日本から 20 名の参加者を招待する。旅費は日本側で負担する。できるだけ研究費で参加するようにするが、一部本学会の国際交流費での支出をお願いしたい。

Rising NM Physician Challenge の発表者として、45 歳以下の参加者 1 名を推薦する。アジア核医学専門医 4 人の中から選びたい。

ASNMM 日中のみならずアジア全体の教育を念頭に置いている。

6. 放射線治療環境の改善に関する要望書

(5) (伊藤健吾理事)

RI 内用療法の環境が整わず、予後にも影響していることから、適切な診療報酬をつけることを内閣に提言する。日医放と核医学会が共同で出す。JASTRO は、別途節立て中心の申請をする予定。

薬剤の料金を別に設定することは整合性の点から難しいが、高額な薬剤を使う際、初日に込みで計算するという DPC の算定方法がある。

指導内容に関して都道府県で統一性をもってもらうよう要望する。

7. 核医学領域の診断参考レベル (DRL, Diagnostic Reference Level) 案

全国調査に基づいて放射線防護委員会が作成した診断参考レベル (DRL) 案を学会として承認し J-RIME に提出することとした。

DRL は標準的な線量の調査により導入されるものであって、これに基づいて最適化を進めるツールとされ、推奨投与量や個々の症例における上限量ではないので、この DRL の意味を現場に周知する必要がある。これまで本邦で公式の DRL が存在しなかった。全国調査や DRL 設定について学会として論文等を通じて公表していく。

8. その他

- ・ IAEA の活動について、核医学関係では PET 検査やその教育、アイソトープの管理などについて IAEA から個人的にコンタクトが来る。学会で担当者や方針を決めてはどうか。
- ・ 核医学会総会における看護師の参加費について、看護師に限り会員、非会員によらず 5000 円かどうか。核医学看護フォーラムの一般演題は会員でなくても可能としたい。
→承認。

II. 報告事項

1. 第 55 回学術総会状況報告 (6) (小泉潔会長)
招待講演とシンポジウムが演者の一部に重複あり。11/4 に理事会開催予定。

11/5-7 福島で行われる甲状腺学会と重なった。プログラムを考える。

今回の発表は日本語でも可とする。

2. 第 56 回学術総会準備状況報告

(伊藤健吾次期会長)

健康長寿社会をめざして 核医学の挑戦

英語のテーマは今後決定する。人によって意見が異なるのでまだ決まっていない。

3. 第 57 回学術総会準備状況報告

(井上登美夫次々期会長)

パシフィコ横浜 2017/10/5-8

第 12 回アジアオセアニア核医学会と同時開催
学会担当は Convention

4. 第15回春季大会状況報告

(7) (井上登美夫大会長)

4/25-26

核医学専門技術セミナーと第1回アミロイドPET読影講習会を新設した。

米国の32症例の提供が行われる企業と material transfer agreement を締結予定。

受講資格は企業の講習を受けた人に限られる。

5. 会計報告 (8) (阪原晴海理事)

特に問題なし。

世界核医学会誘致に関して寄付金が送られている。

6. 委員会報告

1) 編集委員会 (9) (絹谷清剛理事)

和文誌分割に関して、J-stage に掲載して一般に公開する案。

総会のアプリは5年契約で100万円くらい安くなるので、複数の会長で認識しておく必要がある。

決定は次回。

ANMの論文でオープンアクセスになっているものは中国で見てもらえるようにできる。

Case report は終了を考慮。

2) 教育・専門医審査委員会 (望月輝一理事)

今年の6月頃に新専門医のヒアリングがあり、専門医制度の研修プログラムを作成しておく必要がある。放射線学会の核医学分野を肉付けして作る予定。日医放の案がまだできていない。核医学は横断領域として他との整合性が必要になる。

3) PET核医学委員会 (10) (細野眞理事)

春季大会で第1回アミロイドPET読影講習会 Florbetapir 読影コースを実施予定。

学術総会で開催するPET核医学ワークショップの企画を準備している。

4) 健保委員会 (11) (伊藤健吾理事)

内保連4項目、外保連3項目を次期診療報酬改定に要望予定。

アミロイドPETイメージング剤合成装置の適正使用ガイドラインを作成中。

検査依頼の適正化に関して議論がある。「認知症やアルツハイマー病に関する十分な知識と経験をもつ専門医師が患者を診察した上で適用を判断して依頼する必要がある」高い専門性をどのように考えていくか？アルツハイマー病か否か診断が難しいという点について、何をもちって難しいと考えるのか？

5) 広報委員会 (内山眞幸理事)

・ホームページは、しばらくは現システムで行う。今のシステムをそのまま引き継げる大手を見つけていく必要がある。(文中からのハイパーリンクはしない設計になっていた。)

・Hot topic 方式では、新しい通知を追加し、古いのが沈んでいく。過去の項目の入れ替えができない。

6) リスクマネージメント委員会 (中川原讓二理事)

2014年9月の大分大学の過大投与事件。終息していない。SHIより経過報告と対策が講じられたが、今回は製造責任が問われている。

7) 放射線防護委員会(12) (石井一成理事)

DRL作成について。

① PET用サイクロトロンに関するクリアランスおよび放射化物質の取り扱いに関する小委員会 (千田道雄理事)

これまでは平均使用数量(減衰を考慮して空間線量率などを計算)で良かったが、最近規制室が方針を変えたようである。特にO-15ガスが使用量の規制をうける。

8) 利益相反審査委員会・倫理委員会

(2) (藤井博史理事)

日本医学会で、研究機関における利益相反申告と各学会が求めている利益相反申告の統一に向けた動きがある。

9) 学会賞選考委員会 (玉木長良理事)

3月にアジア研究奨励賞、6月に日本核医学会賞、研究奨励賞、リターニー奨励賞の応募を締め切り、従来通り選考を進めていく。

- 10) 核医学領域における薬剤師の活動のあり方検討委員会 (13) (間賀田泰寛理事)
核医学会主体で進めていく必要性あり。
- 11) 分子イメージング戦略会議 (14) (千田道雄理事)
承認済み合成装置による院内製造 PET 薬剤は、学会 GMP に準拠すれば治療薬の治験に使うことはできるのではないかと考えて、当局や企業とやり取りしている。
グローバル PET 治験 (抗癌剤治療に FDG) の推進のためアメリカでは SNMMI/CTN, QIBA/UPICT (RSNA の下部組織) の NCI の 3 カ所の動きがあり、いずれともつきあっていく必要がある。
QIBA から日本医学放射線学会へ協力依頼があったが、核医学分野に関しては、日本医学放射線学会は本学会と密接に連携する。
厚生労働省科学研究費レギュラトリーサイエンス (井上登美夫班) は 3 月で終了する。
早期探索 5 拠点 PET 連絡協議会 (畑澤順理事)
活動は、来年まで。
- 12) 小児核医学検査適正施行委員会 (小泉潔理事)
- 13) 内用療法戦略会議 (絹谷清剛理事)
活動は学会の立場、金沢大学の立場を使い分けて行う。
原子炉で Mo-99 を作成し供給する話。コストは 7 倍になる。
- 14) 将来計画・経営戦略委員会 (15) (外山宏理事)
他科の会員を増やすため、企業のランチョンセミナーの裏に入会案内を載せる。
日本脳神経核医学研究会
日本心臓核医学会 (学会だが核医学会の分科会である)
- 15) 予算委員会 (井上登美夫理事長)
開かれていない。
- 16) 医療機器としての単体ソフトウェアの開発支援と診断指標の標準化に関する委員会 (16) (飯田秀博理事)
2/24 からは企業は医療に関するソフトウェアは提供できなくなる。
使うことに関しては問題ない。
“not for diagnosis” とされていると取り締まれないが、医療に使われていけば問題となる可能性がある。
ソフトウェアとハードウェアをあわせて承認だったのが分かれるようになったということ。
7. ワーキンググループ (松田博史理事)
研究成果が「核医学」に掲載される。
8. 分科会活動
- 1) 腫瘍・免疫核医学研究会 (17) (佐賀恒夫理事・絹谷清剛理事)
バセドウ病のガイドラインに男性の避妊 (4 ヶ月) 安全側で作ったが、甲状腺学会 (中村先生) から削除要請。
アメリカ甲状腺学会に基づいて議論する。
 - 2) 日本脳神経核医学研究会 (石井一成理事)
 - 3) 日本心臓核医学会 (18) (近森大志郎理事)
 - 4) 呼吸器核医学研究会 (内山真幸理事)
2015.6.20 弘前大学にて (小野修一先生)
 - 5) PET 核医学分科会 (19) (細野真理事)
9. 国外学会等連携
- 1) 世界核医学会 (絹谷清剛理事)
2022 年世界核医学会招致委員会
来年の EANM で決定。
 - 2) 米国核医学会 (玉木長良理事)
Cancer screening using FDG-PET についての日本核医学会からのセミナーを予定。火曜日の夕方に Wagner-Torizuka Fellowship の懇親会が予定されている。
 - 3) ヨーロッパ核医学会 (IAEA を含む) (千田道雄理事)
EANM の理事会で承認が得られれば、ボルチモアで MOU (覚え書き協定) を締結。いろいろな共同の活動が行いやすくなる。

4) アジア・オセアニア核医学会 (ARCCNM 兼務)

(20) (外山宏理事・井上登美夫理事長)

日中核医学交流会

- ・ 3月14日-15日 ジョイントシンポジウム (沖縄) 日本40人, 中国30人参加で予定.
- ・ 第12回アジア・オセアニア核医学会について, 平成29年度共同主催国際会議申請会議 (日本学術会議) のヒアリングが2月

13日に行われた. 結果は2月末を目処に連絡がある.

10. 理事長報告 (21) (井上登美夫理事長)

11. その他

PMDAに日本核医学会から1人出せないかという打診があった. (PMDAに核医学をわかっている人がいない)

Ⅲ. 確認事項

1. 前回議事録 (案) (22)